

## 中瀬沼周辺の湖沼群および川上青沼，湯沼の水質調査

黒沢高秀

2017年8月20日に中瀬沼周辺の湖沼群および川上青沼，湯沼で水質調査を行いました。参加者は藪崎志穂さん（総合地球環境学研究所），水澤玲子さん（福島大学人間発達文化学類），遠藤優年君（福島大学大学院理工学研究科修了生，現会津学鳳高校教員），黒沢の4名です。水質分析の専門家である藪崎さんが磐梯地域の湖沼や湧水の水質調査に訪れたのに合わせて，黒沢が呼びかけて行われました。中瀬沼周辺の湖沼群はニチレイ社有地内にあり，遊歩道などから離れた森林内や草原内の湖沼群（通称 N1 沼，N2 沼，N3 沼）で，裏磐梯では珍しく外来の水生植物や湿地生植物が見られない中性湖沼です。その意味で，本来の植物相が維持されていると思われる貴重な湖沼群です。湯沼は温泉が湧いている湖沼です。川上青沼は湯沼の下流にある湖沼で，海岸近くの池などに多いホザキノフサモが生育する湖沼です。これらの中小湖沼は遠藤君の修士論文研究で pH，電気伝導率などの基礎的な水質の調査をしていますが，専門家による詳細な調査により，様々な性質が明らかになることが期待されます。調査にあたって，株式会社ニチレイに便宜を図っていただきました。御礼申し上げます。



N1 沼でのサンプリング



N3 沼の様子